

お知らせ

記者発表資料

平成27年5月25日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会
岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、
山口県政記者会、山口県政記者クラブ、
山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

道路に関する新たな取り組みの現地実証実験(社会実験) 公募の開始について

国土交通省道路局では、地域におけるにぎわいの創出、まちづくりまたは道路交通の安全の確保等に資するため、社会的に影響を与える可能性のある道路施策の導入に先立って、地域住民等の参加のもと、場所や期間を限定して当該施策を試行・評価し、もって新たな施策の展開と円滑に事業を執行することを目的とする現地実証実験（社会実験）を、公募により平成11年度から実施しています。

この度、平成27年度の公募を下記のとおり開始することとなりましたのでお知らせします。

○ 受付期間

平成27年5月25日（月）～平成27年6月19日（金）

○ 申請者

実験を実施しようとする地方公共団体（複数の地方公共団体にまたがって実施しようとする場合は、代表となる地方公共団体）とします。

○ 応募書類の提出、問合せ先（中国地方整備局管内）

応募書類は、下記において受け付けており、電子メールもしくは電子媒体で提出をしてください。また、実験内容や申請等に関する事前相談、問い合わせを随時受け付けています。採択実験は、平成27年7月中を目途に決定する予定です。

■中国地方整備局 道路部 地域道路課

TEL：082-221-9231，メール：chiikidouro@cgr.mlit.go.jp

○ 詳細は、公募要領を参照して下さい。公募要領、公募申請書（様式）は以下のウェブサイトからダウンロードできます。

http://www.mlit.go.jp/road/demopro/public_offering/offer.html

【問い合わせ先】

（担当）国土交通省 中国地方整備局 TEL：082-221-9231（代表）（平日・昼間）

道路部 地域道路課 課長 田中 敏彦（内線 4611）

地域道路課 課長補佐 梅 敦司（内線 4613）

【広報担当窓口】

広報広聴対策官 平川 雅文（内線 2117）

企画部 環境調整官 田尾 和也（内線 3114）

1. 現地実証実験(社会実験)とは

社会実験とは、道路に関する新たな施策の展開や円滑な事業執行のため、社会的に影響を与える可能性のある施策の導入に先立ち、地域住民等の参加のもと、場所や期間を限定して施策を試行・評価するものです。

2. 社会実験を活用した課題の解決の流れ

地域の課題把握と対応策(案)の立案

対応策(案)の評価

実現可能性の評価

社会実験の活用

現地での試行により、想定した効果が得られるか検証、評価

本格実施

3. 社会実験の支援

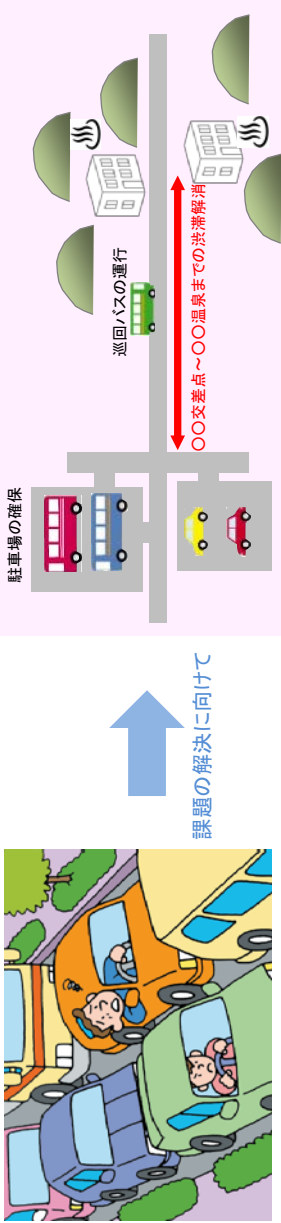
国土交通省 道路局では、道路に関する新たな施策について、平成11年度から公募により企画提案を募集し、社会実験の実施を支援しています。

社会実験の実施にあたって、各種調査、効果の整理・分析・評価のための費用を 国土交通省が支援しています。

【H27 公募期間】 平成27年5月25日(月)～平成27年6月19日(金)

＜参考＞社会実験を活用した課題の解決イメージ

パーク&ライドを用いた観光地の渋滞解消に関する社会実験(事例)



地域の課題把握と対応策(案)の立案

- ・地域の課題
観光シーズンに〇〇交差点～〇〇温泉まで区間が渋滞(所要時間〇〇分)
- ・原因の把握
〇〇地区内への観光客の自動車交通の集中
- ・課題解決のための対応策(案)の立案
〇〇地区への自動車流入規制、パーク&ライドの実施
(混雑エリアの流入規制、巡回バス運行、巡回バス乗換駐車場整備)

対応策(案)の評価

- ・施策の具体化による対応策(案)の評価
対象エリア、巡回バスの運行本数、駐車場の必要台数等を検討し評価

実現可能性の評価

- ・対応策(案)の実現可能性の評価
パーク&ライドの実現可能性について、制度、予算等から評価
- ・関係者との調整
地元観光協会、道路管理者、警察等との調整
- ・実施体制づくり
関係機関や地元住民等により社会実験協議会を構成
- ・社会実験により検証が必要な項目、目標値の検討
観光シーズンの〇〇交差点～〇〇温泉までの所要時間が〇〇分以内、ピーク時の自動車交通量〇割削減、地域住民や利用者の満足度

社会実験による実現可能性の検証、評価

- ・社会実験の成功したポイント、失敗したポイントを、施策に反映

本格実施

- ・施策の改善、本格実施
パーク&ライドを本格導入

社会実験の実施